

もうすぐクリスマスです。ケーキを食べましたか？

/// I N D E X ///

- ・ ISO 関連解説-----ISO14067 の改訂
- ・ LCA の実務 mini 37---削減貢献量算定の難しさ
- ・ LCAF からお知らせ---・ LCA 中級研修は1月15日(木)と16日(金)の午後です。
この成果を2月14日(土)の中級検定試験で確認してください。
- ・ 2月4日(水) 午前にフィンケバイナー教授のセミナーを行います。
- ・ 2月18日(水) 午後に CFP 算定研修(基礎編)を行います。
- ・ 3月18日(水) 午後に実務者研修を行います。
- ・ 稲葉の内閣総理大臣賞の受賞記念シンポを企画中です。
- ・ [再掲です] グリーンウォッシュの本を和訳しました。
感想文(書評)を募集中です。
- ・ 編集後記-----クリスマスのこと

■■ ISO 関連解説： ISO14067 の改訂 ■■

LCAF 通信の前号では、ISO14064-1 の改訂が GHG プロトコルの主導で行われることを書きました。ISO14067 (カーボンフットプリント (CFP)) の改訂は、ISO が主導して、GHG プロトコルからの委員を受け入れて作成することになっています。しかし、GHG プロトコルは既に「Land Sector and Removals Guidance (土地セクター・炭素除去ガイダンス)」のドラフトを発行直前にまで仕上げているので、私はこれを覆すのは困難と思います。

また、10月25日~30日までトロントで行われた議論では、従来の実際の排出量の算定に加えて、「mitigation」と称して削減量をコンセクエンシャル LCA で算定することを加える議論が進行しています。削減量の算定には「比較」が含まれ、常に「仮定」が入るので、「削減貢献量 (Avoided Emission)」も含めて ISO 規格ではこれまで取り上げられてきませんでした。今後、どうなるか注意してみてゆく必要があります。

この改訂を行う SC7/JWG8 (GHG プロトコルとの合同 WG になったので、WG8 が JWG8 と呼ばれるようになりました) の議長は、イタリアのダニエル ペルニゴッテイさんです。ISO14077:2013 の頃からの付き合いですので、個人的にも意見交換を進めたいと思っています。

■■ LCA の実務 mini 37： 削減貢献量算定の難しさ ■■

今年の7月に WBCSD が「Avoided Emission (削減貢献量)」のガイダンスを発行しました。最近、製品の GHG 排出の削減貢献量を算定する活動が増えています。例えば、省エネルギー製品が従来製品(ベースライン)を置き換えることによる使用時の GHG 排出量の削減を算定する方法です。注意しなければならないことがいくつかあります。

- 1) 主として、新製品の今後の削減貢献量を主張することに使われます。この製品が「なかりせば」使われていた製品をベースラインに設定します。あなたの製品が市場で主流になっている場合は、置き換える製品がないので削減貢献量を算定することができません。市場で主流になるまで従来製品を置き換えてきた実績を算定するときは「過去に果たした削減貢献量」です。公表の仕方に注意する必要があります。削減貢献量が批判された例の一つが、断熱材の過去の削減貢献量を断熱材が全く使われていなかった住宅をベースラインとして算定した事例です。過去のどの時点まで遡って主張するのかと問われることとなります。ご注意ください。
- 2) 他社の特定の製品をベースラインにするのは「比較主張」です。市場での主流製品をモデル化するなどの工夫が必要です。それならばと、自社の旧製品をベースラインにすることがありますが、自社の旧製品が市場での主流製品ではない場合は、社会的に大きく貢献しているとは言えません。自社の技術開発を強調するなどの工夫が必要です。
- 3) ベースラインは、他社の市場での主流製品ですからその製造方法がわからないことが多いのです。しかし、安易にデータベースから引用すると、「同じ条件で算定する」という原則に反することになります。ベースラインの GHG 排出量の算定方法に詳細な注意を払う必

要があります。

- 4) 原料をバイオマスに代えたので製造段階の GHG 排出量が少ない製品になった。それが市場において旧製品を置き換えるときの削減貢献量を主張したいというご相談があります。バイオマス原料の GHG 排出量の算定方法が、カーボンフットプリント (CFP) の規格に合致しているかチェックしてください。バイオマスによる大気中の CO2 の固定量だけを単純に引いているサプライヤーの報告書を鵜呑みにしてはいけません。また、バイオマス原料が固定している CO2 の量は、あなたの製品の廃棄時に排出量として上乗せする必要があります。

その他にも注意することがたくさんあります。気になったら LCAF にご相談ください。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○LCA 中級研修は 1 月 15 日 (木) と 16 日 (金) の午後です。もうすぐ受講募集を開始します。また、2 月 14 日 (土) に LCA 中級検定試験を実施します。受講の成果を確認してください。
https://lcaf.or.jp/education/training/lca_middle/

○2 月 4 日 (水) 午前に ISO14077 (CoC の LCA での利用) の議長であるベルリン工科大学のマテアス フィンケバイナー教授を招いて、作業の進捗状況をご紹介いただく「LCAF 特別セミナー」を行います。ランチbuffetもあります。皆さんの CoC の活用状況を ISO の作業に伝える良い機会と思います。ご参加ください。

○2 月 18 日 (水) 午後に CFP 算定研修 (基礎編) を行います。
カーボンフットプリント (CFP) の算定の基礎研修です。CFP は LCA を基礎としますので、最初の一部が LCA 初級研修と重なりますが、復習する機会としてご利用ください。

○3 月 18 日 (水) 午後に実務者研修を行います。昨年度に始めた「LCAF 実務者研修シリーズ」の 3 回目です。最近、廃プラスチックの利用や削減貢献量でコンセクエンシャル LCA を使う事例が出てきています。コンセクエンシャル LCA を中心に、循環型社会とサーキュラーエコノミーの関係、また 2 月 4 日のマテアス フィンケバイナー教授の LCAF 特別セミナーも踏まえて、マスバランスモデルに関する ISO の活動を整理します。「LCAF 実務者研修シリーズ」では LCA に関する最先端の活動や話題を紹介し、今後の展望を皆さんと議論します。LCA に関する最新の詳細情報を整理する機会としてご利用ください。

○稲葉の内閣総理大臣賞の受賞記念シンポを企画中です。
12 月 2 日 (火) に首相官邸で、令和 7 年度産業標準化事業表彰の内閣総理大臣表彰を授賞しました。ライフサイクルアセスメント (LCA) やカーボンフットプリント (CFP) に関する長年の標準化活動への功績が受賞対象になりました。
<https://www.meti.go.jp/press/2025/12/20251203001/20251203001.html>
これを記念して、LCA にご関係の方々をお招きし、ISO 等の今後の活動について議論するシンポジウムを企画中です。2 月 16 日 (月) または 17 日 (火) が有力候補です。確定しましたらまたご案内します。

○[再掲です] グリーンウォッシュの本を和訳しました。
・「地球にやさしい? 一偉大なるグリーンウォッシュ」が丸善出版からでました。3,190 円 (税込) です。書評 (感想文) を募集中です。まだ 1 件しか来ていません。ご協力をお願いします。

○[再掲です] 新しい参考図書「基礎から学ぶ LCA~LCA の実施と活用~」を発行しました。
以下からお申込みください。(3,000 円+税+送料) です。
<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

■■ 編集後記: クリスマスのこと ■■

お菓子が入った長靴がスーパーマーケットに並んでいます。私が子供のころもありましたが、入っているお菓子はビスケットと餡が大部分で、チョコレートはごくわずかでした。スポンジにバタークリームを塗ったクリスマスケーキには、紙のヒイラギの葉とジンタンのような銀色の粒が載っていました。イチゴはなかったですね。それでも買ってもらうとうれしかったです。

私が昔過ごしたワシントン DC の近くでは、クリスマスが近づくとモールにサンタクロースが

来ました。子供と写真を撮って、ささやくようにプレゼントに何が欲しいか聞きます。帰国してしばらくすると日本にもモールができました。私の自宅の近くにはないのでわかりませんが、日本のモールにもサンタクロースはくるのでしょうか？

私は、アメリカのクリスマス映画が大好きです。古いものと、「ホリデイイン」。あの♪アーイムドリーミングオブアホワイトクリスマス♪ですね。♪フロステーズノーマン♪など、楽しい曲がたくさんあります。

イタリアやスペインでは、教会だけではなく街角やホテルにキリスト生誕の場面のミニチュアが出来上がります。24日までは空っぽの馬小屋に25日の朝には赤ん坊がおかれます。生まれたばかりのキリストは、どこでも右足をちょっと上げたポーズです。なぜなのでしょう？

クリスマスケーキといえば、生クリームとイチゴですね。清水の久能山の石垣イチゴはお正月からいちご狩りが始まるのが常でした、12月中はクリスマスのイチゴの出荷が忙しいと聞きました。ひと昔前には「売れ残りのクリスマスケーキ」のたたき売りがあったのですが、最近は見ませんね。予約販売が浸透したのでしょうか。ライフスタイルが変化し、女性の社会進出もすすみました。

♪きつと君「に」は来ない♪と歌って、仲間うちで騒いだこともありました。今年は雪が多いようです。静岡生まれですのでホワイトクリスマスのイメージが好きですが、豪雪地域では大変だと思います。被害がないように祈ります。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見,ご感想,この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-10-2 渡辺ビル 5F

電子メール : a.inaba@lcaf.or.jp

電話 : 090-1423-0863

URL:<http://lcaf.or.jp/>